

○ 明るい民主大阪府政をつくる会 明るい会ニュース

2016. 11. 19 No.132 (部内資料)

明るい民主大阪府政をつくる会
〒530-0047 大阪市北区天神橋 1-13-15
大阪グリーン会館
TEL 06-6357-5333 FAX 06-6357-5303
E-mail akarui@mba.sphere.ne.jp

「拙速な万博誘致ではなく、府民の暮らし最優先の府政運営に努めよ」と題する荒田功明るい会事務局長の談話(全文)を紹介します。

拙速な万博誘致ではなく、 府民の暮らし最優先の府政運営に努めよ

2016年11月18日 明るい民主大阪府政をつくる会
事務局長 荒田功

大阪府議会は11月4日、「万博」の実現に向けて政府などへの働きかけを強める決議を賛成多数で可決した。決議は「全世界に向けて大阪、関西の存在感を示す絶好の機会」と強調しており、おおさか維新の会、自民党、公明党が共同で提出した。

「明るい会」は「万博」の意義、理念を尊重するものであるが、2025年の大阪万博誘致を性急に進めることについて警鐘を鳴らすとともに、府民の暮らし最優先の府政運営に努めることを強く求めるものである。

※

現在、「万博」は平和の象徴として、世界各国の人々の交流の場となり、また、人類が築き上げたその時代の技術・芸術の頂点を世界に向かって発信する機会を提供している。その一方で、費用対効果の問題点も指摘されている。

1970年に開催された大阪万博は「人類の進歩と調和」をテーマに掲げ、77か国が参加し、183日間の総入場者数は6421万人であった。

また、戦後の高度経済成長の象徴的なイベントとして開催され、多くの企業・研究者・建築家・芸術家らがパビリオン建設や展示物作成に起用され、大阪の周辺市街地

は万博開催の整備がなされ、道路や鉄道・地下鉄建設など大規模開発が進められた。

※

今回、「人類の健康・長寿への挑戦」をテーマにしているが、会場予定地の大阪市此花区の人工島「夢洲」には、カジノを含む統合型リゾート(IR)の誘致が予定されている。ギャンブル依存症など対策の遅れている日本で、「万博」とカジノを一体にした開発は「万博」の理念を根底から損なうものである。また、地震や津波などの危険性も指摘されている。

基本構想では経済効果6兆円としているが、一方で地元自治体が負担する開催費用は莫大なものにあることは間違いない。

大阪の現状は貧困と格差が広がり、子育て、医療、介護など喫緊の課題が山積している。府民の暮らしの現状を見たとき、「なぜ今万博なのか？」といぶかるのは当然ではないだろうか。府民不在の万博誘致決議に異議を唱えたい。まして、万博優先の府政運営で住民のための予算が削られるようなことがあってはならない。イベント型の行政ではなく、住民の暮らしに寄り添い、住民の声をしっかり聞く行政運営を強く求めるものである。